



2023年9月5日 第3444回例会 会場：川越プリンスホテル5階

会員数：103名 免除出席者：3名 正会員出席者：53名 出席者：56名 早退：1名 出席率：54.90%

### プログラム

点鐘（12：30）／国家：君が代・ロータリー  
ソング：奉仕の理想／ビジター・お客様紹介  
／卓話講師紹介／会長の時間／幹事報告／  
委員長報告／ニコニコボックス／出席報告  
／卓話／点鐘（13：30）〈司会：小林SAA〉

#### 《ビジター・お客様紹介》

齊藤大祐（さいとう だいすけ）

鶴ヶ島 RC 奉仕プロジェクト部門委員長

#### 《卓話講師紹介》

廣瀬 哲也 会員

### 会長の時間

#### 2023-24年度 会長 坂口 孝

《理事会報告》

- ① 米山記念会の賛助会員について 今年度クラブより1口1万円
- ② 台北西北ロータリークラブ 63

周年の記念式典は、22 日式典のため 21 日日本  
出発、23 日帰国。例年通り 10 万円、10 数個の  
お土産を持参のうえ、7 名で参加。

③ 赤い羽根の共同募金は、今年度は 500 円で進  
めていくので全員に協力をお願いします。

9月は「ロータリーの友」月間。「ロータリーの  
友」は 1952 年 4 月 25 日に大阪の地区大会で決  
定。日本は 1 つの地区から翌年 2 分され、非常  
に寂しい状況。指定機関紙を使用していたもの  
の、情報の共有が難しくなるため、翌年 7 月に  
日本独自の機関紙「ロータリーの友」が発刊。発  
刊や改訂にあたっては、国際ロータリーが定め  
る 17 項目の基準があります。世界にはおそらく  
20～30 種類もの機関紙があり、その中の一つが  
「ロータリーの友」。基準の 1 つが、国際ロータ  
リーの指定記事、横組みのページに入っていま  
す。第 2 例会の「ロータリー友」紹介は講読の

お手伝い。ぜひご自身で読んでください。

国際ロータリーには定款・細則、章典などのル  
ールがあり、これは大きな枠組みで、この枠組み  
から出ることが認められるには 2 つの条件があ  
ります。まず国法、各国の法律は国際ロータリ  
ーのルールよりも優先される。もう一つは慣習、そ  
の地域の慣習が優先される。この慣習も国際ロ  
ータリーの認可を本来は受けなくてははいけな  
い。

「ロータリーの友」の名前は、月刊誌「主婦の  
友」から。内容は横組みに RI 指定記事、ロータ  
リーの特別月間の関連記事、特集や地区やクラ  
ブ活動などなど。一方、縦組みはクラブ内の出来  
事、俳句などの地域密着型の記事など。ロータリ  
ーの指定記事等々、横組みは英語のため横書き、  
日本では 1952 年から、縦書きの方が書きやすい  
ため縦組みでできてるとい話もあります。また来週  
の紹介時、こうしたことを頭に入れ、今後も  
ぜひ末永く講読してください。

### 幹事報告



#### 2023-24年度 幹事 栗原 雄一

- ・配布物：会報、「小江戸川越まつり  
栈敷席販売」案内ちらし、卓話  
リレー・フォー・ライフの資料
- ・9月のレート 1 \$ = 146 円  
(8月 141 円)

- ・次週は夜間例会 18:00 点鐘 プリンス 3 階
- ・地区大会記念チャリティゴルフ大会のご案内  
12月6日(水)
- ・先週からの回覧 秋田豪雨災害の義援金

### 委員長報告

○財団・米山記念奨学委員会 島村会員(地区ロ  
ータリー財団委員会補助委員会副委員)

9月2日国立女性教育会館で地区のロータリー財団セミナーが開催。各クラブ会長、担当委員長ご参列の上、内容は財団の重要性、意義、寄付の流れ・仕組から、申請の手順などの説明。また、11月はロータリーの財団月間で、財団の基金について理解を深めてください。

○青少年交換留学生カウンセラー 吉澤会員  
台湾からの交換留学生 Joanna さんのホームステイ先のご家族を招待し、9月3日ウェルカムランチを開催。4つのファミリーがホームステイ先。毎月1回ご挨拶には参ります。

○財団・米山記念奨学委員会 炉辺会合報告  
栗原幹事

9月1日、財団委員会と米山奨学委員会の合同炉辺会合を開催。米山財団に行っていないメンバーもあり、訪問していきます。10月3日は米山、11月14日財団の卓話担当決めを実施。

## ニコニコボックス（和田喜勝委員）

●鶴ヶ島ロータリークラブ齊藤大祐（奉仕プロジェクト委員長）さんようこそ。〈会長、幹事〉  
●本日の卓話、公共イメージ委員会廣瀬会員宜しくお願いします。〈会長、幹事〉●坂口会長様、はじめ川越ロータリークラブの皆様、本日はお世話になります。宜しくお願い致します。〈齊藤大祐（鶴ヶ島RC）〉●地区社会奉仕委員会委員長、齊藤大祐さん（鶴ヶ島RC）ようこそいらっしゃいました。川越ロータリークラブの例会を楽しんでいてください。〈野溝、近藤、吉澤、山田（哲）、石井、西川、小高〉●本日リレーフォーライフへのご協力を仰ぎます。よろしくお祈り致します。〈廣瀬〉●廣瀬さん、本日の卓話どうぞよろしくお願い致します。〈相原、小橋、鈴木（壮）、近藤、和田（喜）、野溝、山田（哲）、吉澤、八木、石井、西川、住谷、齊藤（智）、島村、小高、藤井、蓼沼、水村、小杉、小林、和田、小峰、久保田、上原、芳野、丸山、神谷、佐藤（道）、馬場（常）、西澤、小谷野、金剛、山崎、岩堀、池袋〉●先日異動発表がありました。毎半期毎に大騒ぎしていますが、今回も異動ありませんでした。もう半年お世話になります。特注のイスが間に合わず、そんなところにはコストをかけられないというのが理由のようです。皆様よろしくお祈り致します！〈小城〉●結婚記念日のお

祝いを頂きありがとうございました。〈鈴木（崇）〉●早退1名（敬称略）  
合計61,000円

## 卓話（公共イメージ委員会）

○卓話講師：廣瀬 哲也会員

「リレーフォーライフ (RFL) について」  
「がんに負けない社会を目指して」と題し、RFLの紹介とご協力をお願いします。がん患者やその家族を支援し、地域全体でがんに向き合い、がん制圧を目指しています。アメリカ発祥、日本では対がん協会と各地の実行委員会が主催し、自分たちの地域のがん患者を支援。歴史は、1985年にアメリカの医師が「がん患者は24時間、がんに向き合っている」という思いから、陸上競技場を24時間回り続け、その後患者やその家族、友人がチームによるリレー形式へと進化。現在では世界32ヶ国、約4500ヶ所で開催、年間300億円の寄付。協会を通じ研究費、若手医師育成、患者支援などに活用。RFLは「Save Lives」をミッションとして、「Celebrate(讃える)」、「Remember(偲ぶ)」、「FightBack(立ち向かう)」の3つがテーマ。2006年に茨城県つくば市にて開催し、2019年度では、全国52ヶ所、約61000人規模まで拡大。川越では、2009年から数名からのスタートし、今では川合川越市長を大会名誉会長に迎え、川越市、城西大学の共催、埼玉県をはじめ多くの団体の後援もあり、毎年川越水上公園会場として約40チーム3500名の市民に参加いただく規模。RFL ジャパン川越の今年の取り組みについて。2020年7月からコロナ禍で24時間歩くりアル開催はできず、web開催。2022年は蔵里を会場とし半日短縮開催。今年は連馨寺をメイン会場とし様々なチャリティを行い周辺商店街と協力し蔵の街並み全体をウォーク会場とし川越市民にがん制圧の取り組みを訴えかけます。  
※9月17日10:30～連馨寺境内・蔵の街並み望めば誰でもが、がん患者や家族を支えるケアギバーになれます。このがん制圧事業へのご協力には、ご寄付・ご協賛、当日直接来場・実行委員に参加などの方法があります。最後に、私たちのまち川越を、私たち自身の力でがん体験者に優しい、がんに負けない社会へとするために、RFLへのご協力をお願い申し上げます。

